

## 実践研究フォーラム

## 「校長の専門職基準」再検討の方向性を問う

司会 浅野良一（兵庫教育大学／実践推進委員）

昨年6月に第Ⅲ期実践推進委員会が発足した。我々のミッションは校長の専門職基準の検討に留まらず、教育経営の最前線（学校現場、教育行政機関）との対話や理論と実践の関係整理など広く学会の「実践」的な活動を推進していくことにあると自覚しているが、まずは専門職基準をめぐる現状と課題を把握・整理し、今後我々がどのような方向で検討していくべきかについて会員の意見を聴取する機会を頂戴したく本フォーラムを企画した。

校長の専門職基準そのものは第Ⅰ期の委員会が作成し(2009年版)、第Ⅱ期は実態調査や解説書作成などその「普及」活動に力を注いだため、基本的な理念や構成には手をつけず、基準の微修正にとどめている(2012年一部修正版)。そこで第Ⅲ期委員会のスタンスとして、そもそもの基準そのものによって立つ原理や構成をどう考えるかということが当面の焦点になると考えている。第Ⅱ期委員長でありかつ第Ⅰ期からの委員でもある牛渡淳会長には専門職基準の見直しあたっての期待を、幹事会からは現行基準の具体的課題を、第Ⅲ期の曾余田浩史副委員長からは検討の方向性をご提示いただく。忌憚のない議論を期待したい。

(文責：元兼正浩)

10:55~11:00

本フォーラムの趣旨説明 元兼正浩（九州大学／第Ⅲ期実践推進委員会委員長）

11:00~11:10

専門職基準の見直しにあたって期待すること 牛渡淳（仙台白百合女子大学／会長）

11:10~11:55

現行専門職基準の検討課題について（担当：実践推進委員会幹事会）

基準1 日高和美（九州共立大学／実践推進委員会幹事長）

基準2 大竹晋吾（福岡教育大学）

基準3 元兼正浩（九州大学）

基準4 金子研太（九州大学大学院生／日本学術振興会特別研究員）

基準5 梶原健二（九州女子短期大学／九州大学大学院生）

基準6 畑中大路（九州大学大学院生／日本学術振興会特別研究員）

基準7 波多江俊介（九州大学大学院生）

11:55~12:10

今後の検討の方向性について 曾余田浩史（広島大学／実践推進委員会副委員長）

12:10~12:40

フロアからの意見聴取、質疑応答